

9月

富山ろうさい病院 手術室について

麻酔科部長
(手術部運用委員長)

もり いちろう
森 一郎



当院は2016年(平成28年)11月に新病院となり、現在手術室は6部屋で稼働しています。一年間の全手術件数は約1,600例、その内全身麻酔は約700例です。手術室看護師10名、看護助手2名で手術室及び中央材料室の業務に当たっています。

外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、形成外科、消化器内科、麻酔科が手術室を利用しています。大腸、胃、胆のう、虫垂、そけいヘルニア、前立腺や腎などの手術は、当院でも低侵襲の腹腔鏡下で施行しています。ただ、炎症が酷く周囲の組織と癒着している場合や、進行がんの時は従来通りの開腹手術になることもあります。また当院の泌尿器科では、他院であまり施行していない尿失禁の手術を行っています。尿失禁でお困りの方は、是非一度泌尿器科の石浦医師の外来受診をお勧めします。また、整形外科では骨折などの外傷の手術も当院の経験豊かな医師が施行しています。さらに頸椎や腰椎、膝関節や股関節のスペシャリストである関医師や伊藤医師が富山大学から週一回非常勤で来て頂いており、当院の常勤医師と協力して質の高い手術を提供しています。

これらの全身麻酔管理の手術症例を、50歳以上のベテランの麻酔科医3名で充実した麻酔提供ができるように頑張っています。当院のある魚津市は少子高齢化が顕著で、80歳以上の高齢者の麻酔が非常に多いです。当然、心臓や脳血管障害、高血圧、糖尿病、認知症などの持病をお持ちの患者さんが多く、時に麻酔科の術前診察時に重大な病気が判明することもあります。他科の医師や主治医と相談し、手術の延期や中止を考慮しなければいけない症例も時々あります。

また、当院の手術室には、厚生労働省が推進している専門的な知識や技能を身につけた術中麻酔管理領域の特定看護師が2名(さらに1名研修中)在籍し、麻酔科医と特定看護師がタイアップし、手術中の患者さんに、より安心安全な医療の提供を行えるように取り組んでいます。最後に、富山ろうさい病院で手術を受けられる患者さんが、当院で手術をしてもらってよかったと言ってもらえるように、手術室一同今後も努力して参ります。

>>> 病院からのお知らせ

当院への受診は、紹介状のご持参と事前の診療予約の取得をお勧めしております。
事前に診療予約をしていただきますと、待ち時間が短縮できます。